

した。

党議員団は、お聞きした意見を「条例案」に反映させ、2012年6月議会に提案しました。

「条例案」の採決では、自民・公明・民主などが「国や市の施策がある」などと反対し否決しています。



「子どもシンポ」の会場  
会場いっぱい市民が参加。  
貴重な多くの意見が寄せられました

## 2 市民の切実な願いがたくさん実現

### ◆「子どもの通院医療費を小学校卒業まで無料」が実現

市民の強い要望である「子どもの医療費無料化の拡充」は、これまでから直接請求や請願など、その実現を求める粘り強い運動が繰り広げられてきました。党議員団も市民と共同して、無料化の拡充を求める条例提案や一般質問などを行ってきました。こうした運動の結果、入院については小学校卒業まで、通院は就学前までの無料化を実現してきました。今期も「通院医療費無料化の拡充を求める請願」は、同趣旨の内容を含む請願を合わせると4度提出されました。



そのたびに民主・公明・自民などが「財政が厳しい」「総合的な子育て支援が必要」と反対し、不採択としてきました。

しかし、2013年9月から小学校3年生まで、2014年9月からは小学校卒業までの通院医療費の無料化が実現しました。市民の粘り強い運動と党議員団との共同の運動の成果です。

### ◆全小中学校で耐震改修、エアコン設置完了へ

市教委は、西小倉地域の3小学校1中学校の統廃合を行うとし、小・中学校の耐震化もエアコン設置も放置してきました。そのため、西小倉地域以外の小・中学校で耐震化もエアコン設置も予算化され工事が完了しようとしているのに、西小倉地域の小・中学校だけ実施の計画は全くたてられませんでした。

党議員団は、保護者や教育関係者と共同し、議会で繰りかえし追及してきましたが、東日本大震災の影響もあり、市は方針を転換し、西小倉地域の小・中学校の耐震化工事をすすめて、2013年に完了しました。また、市教委は「暑さ寒さに耐えるのも教育のうち（教育部長）」とエアコン設置を拒否し、与党もエアコンの設置を求める市民の請願に反対してきましたが、2014年夏までに全小・中学校で設置されました。